

地方都市・農山村におけるコミュニティの持続的発展  
～地域社会の底力発揮！～

2023年度 JANPIA草の根助成事業  
一般財団法人 中部圏地域創造ファンド

# 1. 社会課題

---

- 2040年までの**消滅可能都市は 1,799都市のうち896都市**（日本創生会議2014年）  
【消滅可能都市数（市町村数）…長野：34（77）、岐阜：17（42）、静岡：11（35）、愛知：7（54）、三重：14（29）】
- 地方都市は**新たな豊かさ**を備えていくことが不可欠（広井良典「定常型社会」）
- コミュニティに居場所、子育て世帯も高齢者も安心、地元雇用機会増加、自然環境が保全、**地域の主体的な動き**
- 「人の空洞化」「土地の空洞化」「むらの空洞化」が進行、**コミュニティ再生と地域産業おこしが核心**（小田切徳美）
- 内発的な産業おこしは、地域の特性を生かした**具体的アプローチ**から始動
- 多角的な視点からの対応と**地域社会を巻き込んだ息の長い取り組み**

## 2. 事業概要

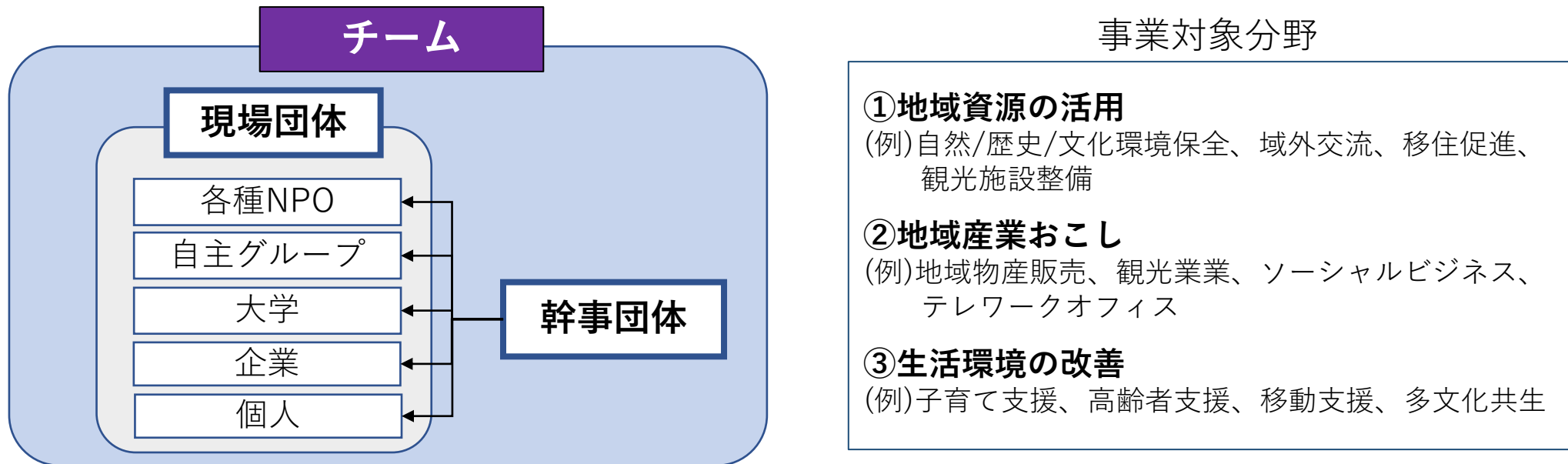
---

- 基軸的支援の分野を ①**地域資源の活用** ②**地域産業おこし** ③**生活環境の改善**として民間公益活動団体を公募
- 応募団体は上記①②③のどれかに焦点を当て（複数可能）、多角的に支援活動を展開するため、団体・個人からなる**チーム**を構成
- 支援のビジネス化も視野に入れてソーシャルビジネス（SB）を始動させ、多様な資金確保（事業収入/助成金/寄付金）（**事業ミックス**）の道筋を構築
- 助成後も、チームの支援活動を支える仕組み（**コミュニティプラットホーム（CPF）**）を構築
- CCFは**地域問題研究所**、**SBに詳しい学識者**、**当該県の中間支援組織**と連携して、一体的にチームを伴走支援

### 3. チームの構成

- 幹事団体…CCFとの契約団体で、チームの幹事役を担いつつ一体的な支援活動を実施
- 現場団体…チームの一員として幹事団体に協力し、一体的な支援活動を実施

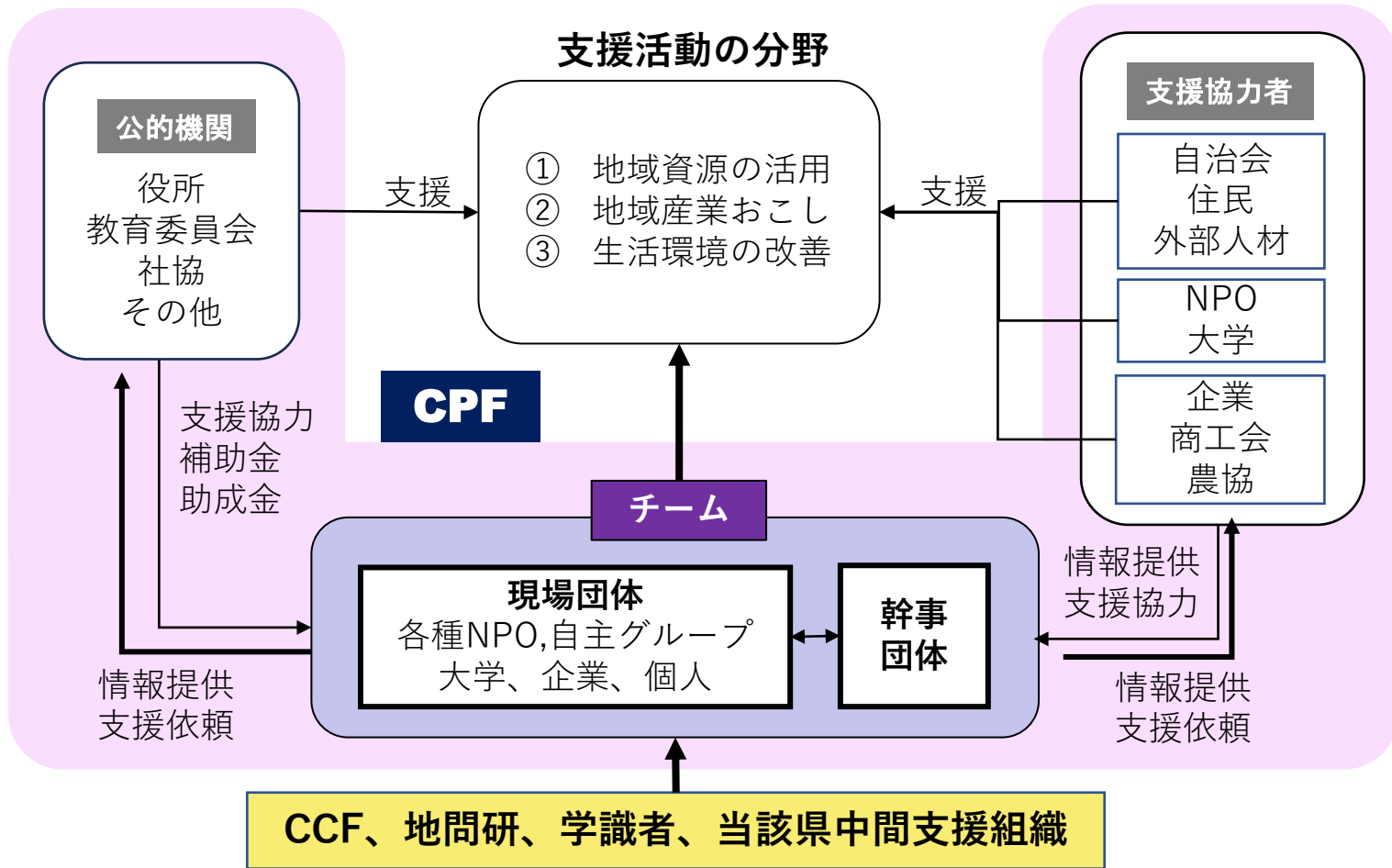
- ・ 各種NPO……………子育て支援、高齢者支援、外国人支援団体等の専門的活動団体
- ・ 自主グループ…安全見守り、環境美化、趣味作品製作、お祭り開催等をしているグループ
- ・ 大学……………自然/歴史/文化環境保全、地域活性化、福祉活動等で地元に関わりのある大学
- ・ 企業……………ITソフト会社、材木関連会社、農業関連会社、地元物産販売店等
- ・ 個人……………元地域おこし協力隊員、建築士、アーティスト/デザイナー、庭師等



★現場団体の過半数は、これまでに幹事団体と連携した活動実績のあることが要件

# 4. コミュニティプラットフォーム

## CPF

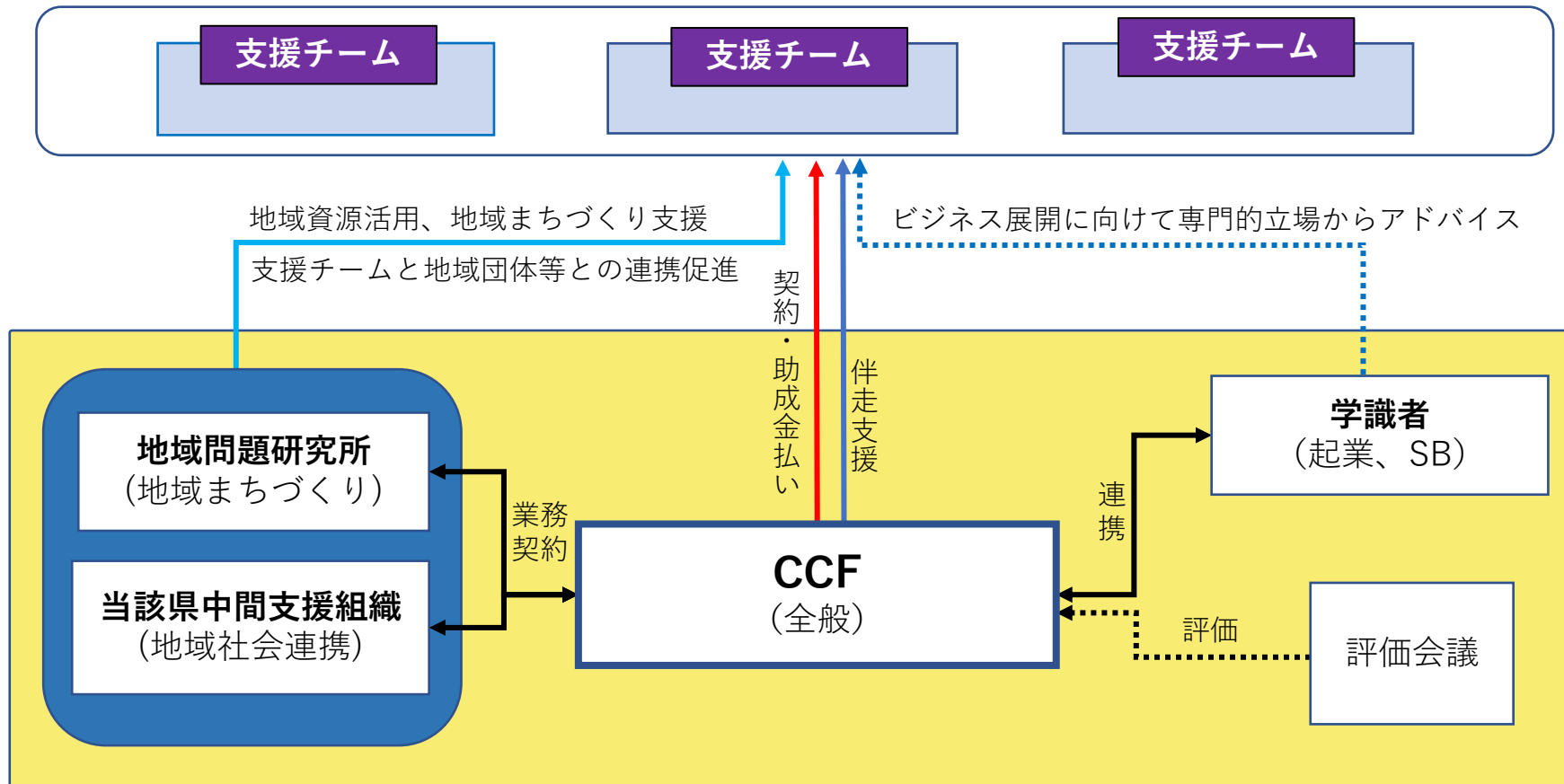


## CPF

- 地域社会に求められる支援団体/個人のつながりの場
- 具体的な活動展開のためのつながりの場
- 支援に共感し協力可能な団体/個人が自由参加できるつながりの場
- 行政施策の展開上、必要性が認められるつながりの場
- 事業のビジネス化も視野に入れ、持続的活動を支えるつながりの場

## 5. 伴走支援体制

CCFは、①地域資源の活用、②地域産業おこし、③生活環境の改善の側面から、地域コミュニティにおける社会課題に対応するため、地域問題研究所、起業・SBに詳しい学識者、当該県の中間支援組織と連携し、チームを一体的に伴走支援する。



ご清聴ありがとうございました。

